

ウォーキング

東海道杖突坂と梅の菅原神社を訪ねて

令和 8 年 3 月 7 日 (土)

1. ルート あすなろう鉄道内部駅～内部橋～杖突坂～菅原神社～鈴鹿川木田橋～
近鉄鈴鹿市駅

8.0 km (14,000 歩)

2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・市川義行・太田 徹・喜吉 雄・高木 勉・
伝田 貢・中村軍志・中村 衛・濱田 一

10 名

3. ドキュメント

あすなろう鉄道内部駅に 10 時に集合。旧東海道を歩いて菅原神社の梅を鑑賞して神戸の鈴鹿市駅まで歩くコースを計画する。駅前に集まったのは最近では最も多い 10 名の参加者で幹事としては大喜びとなる。駅前を通る国道 1 号線を少し歩いて歩道橋を渡って交通量の多い現東海道をいくと内部川に差し掛かる橋を渡ったところで旧東海道に入る。町中に入ると格子戸の民家も残っていて旧街道らしい。突然に急坂となるこれが東海道で有名な杖突坂である。小さな祠、金毘羅宮が祀られていたので頭を下げて先に進む。段々と急になり息づかいが荒くなるのが感じられた。今はコンクリートで舗装されているが昔は地道で大変であったであろうと伺える。



日本一幅の狭いあすなろう鉄道の車内



旧東海道沿いの格子戸の民家



金毘羅宮



杖突坂を喘いで登る皆さん



杖突坂の石柱



芭蕉の句碑

芭蕉の句碑が立っている。

『歩行（かち）ならば 杖つき坂を 落馬かな』と刻まれていた。

坂を上り詰めたところに『日本武尊血塚社』が祀られている。この祠は日本武尊の血で染まった石を集めて葬ったと伝えられている。ここからそれ程遠くないところにある能褒野神社にご神体が祀られているので尊はこの地で没したのは誠か？

国道1号と合流すると鈴鹿市に入る。



古風な蔵屋敷



日本武尊血塚社





菅原神社参道



菅原神社社殿

11時ごろ菅原神社に到着する。梅園を通り抜けて参道を上りお参りする。予測通り梅の花は先日の雨と風で散り果てていた。時期が合えば下記の写真のような梅林が見えたのであった。神社の第2駐車場に桜が咲いているとのことでそちらに向かう。

令和8年2月28日写す



駐車場に使われている広場の土手に早咲きの桜が満開となっていた。何桜かわからないがおそらく河津桜ではないだろうか。早速シートを敷いて座り込む場所を造ると途中で買い求めた飲み物が並べられる。風の強い日であったけれどもこの場所無風で一同ほっとする。いつもの通りビールで乾杯・・・お酒も少々・・・歩くのに支障がない程度に嗜む。

1 時間余りのひと時を会話で費やして昼食後の歩き始めは1 2時4 0分ごろ、鈴鹿川に架かる木田橋を渡って神戸に向けて歩く。近鉄鈴鹿市駅に到達したのは1 3時3 0分ごろであったろうか。4 月のお花見ウォーキングでの再会を約束して各々帰宅の途に就く。



昼食のひと時